

# ハッピーコーヒーマシン 保証書

ご住所	〒□□□□-□□□□ TEL ( )	
お名前	様	
お買い上げ日		
お買い上げ店		
保証期間	1 年	

※保証期間内におきまして、万一製造上の不備による故障の場合は下記の規定により、無償修理と致します。

## 保証規定

- 取扱説明書、本体貼付けラベルなどの注意書による正常なご使用状態で、保証期間中に故障した場合は無償修理させていただきます。
- 保証書の有効期間経過後は修理費用を頂戴させていただきます。
- 次のような場合は、保証期間内でも有償修理となります。
  - (1)ご使用の誤り、及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
  - (2)お買上げ後の落下や輸送上の故障及び損傷
  - (3)火災、地震、落雷、風水害及びその他の天災地変による故障及び損傷。
  - (4)本所のご提示がない場合。
  - (5)本書に必要な事項のご記入がなされていない場合。
- お買上げ日及びお買上げ店名の無き場合は無効となります。
- 本保証書は盗難、火災等不可抗力以外で紛失された場合以外は再発行いたしません。
- 以上の保証は日本国内においてのみ有効です。

## サービスカルテ

修理実施日	修理内容	担当者

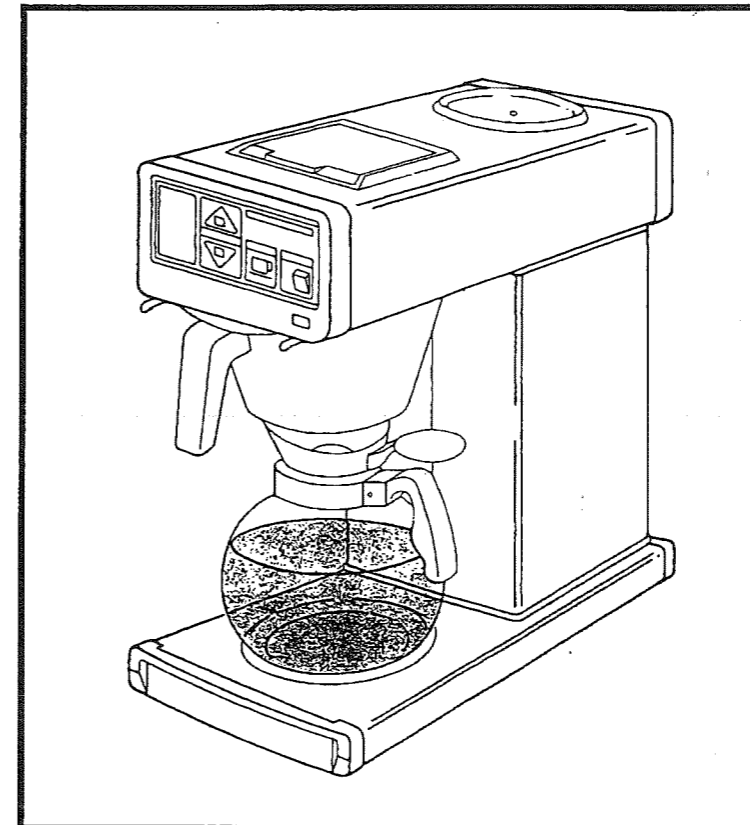
東北精機工業株式会社 機器部

〒990-2251 山形市立谷川三丁目1246番地  
TEL 023-686-6511 FAX 023-686-6524

# HAPPY COFFEE MACHINE

## 取扱説明書

CH-140



## もくじ

	ページ
●安全上のご注意	1
●絵表示について	
警告	
注意	
●構造とはたらき	3
構造と名称	
全面パネル	
●ご使用方法	4
お使いになる前に	
コーヒーの抽出	
●ご使用後は	5
●お手入れについて	
●故障?と思った時	
●修理を依頼する前に	6
●仕様	
●保証書	7

このたびはハッピーコーヒーマシンCH-140をお求めいただきまして、まことにありがとうございました。

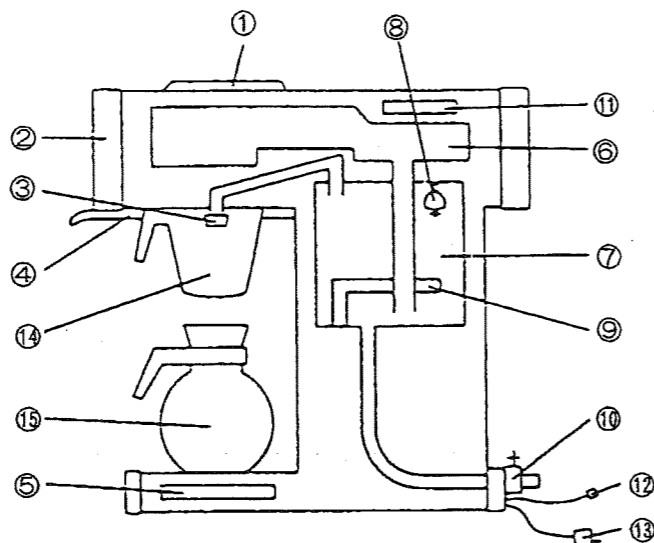
○ご使用前に、この取扱説明書は必ずお読みになって、正しくお使いください。また、ご使用中はいつでも確認できるよう本体の近くに必ず保管してください。

○取扱説明書の内容は、製品の安全操作に関するものです。思わぬ人身事故や災害等の事故を防止するため、本文の警告及び注意事項は必ず守ってください。

# 構造とはたらき

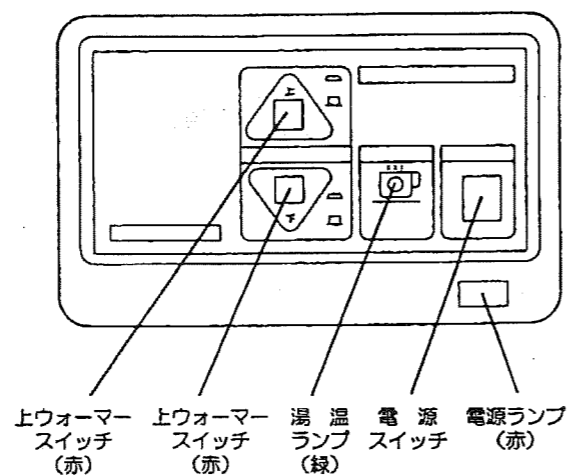
## 構造と名称

- ①給水フタ
- ②全面パネル
- ③シャワー
- ④ファンネルガイド
- ⑤下ウォーマー
- ⑥水バケット
- ⑦貯湯タンク
- ⑧空焚防止装置
- ⑨メインヒーター (1.2KW)
- ⑩排水コック
- ⑪上ウォーマー
- ⑫アース線
- ⑬電源コード
- ⑭ファンネル
- ⑮デカンター



## 前面パネル部の名称と機能

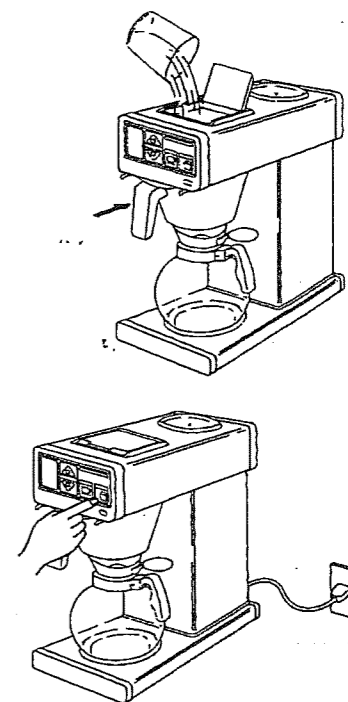
- 電源スイッチを入れると電源ランプ (赤) が点灯し、コーヒーマシンの電源が入り、“OFF” すると電源が切れます。  
(必ず貯湯タンクに定量の水を入れてからONにしてください)
- 湯温ランプ (緑) は、タンク内に水が入っていて電源スイッチを入れるとヒーターが加熱し、抽出適温になればランプが点灯します。
- 下ウォーマースイッチ (赤) “ON” にすると、ランプが点灯し、下ウォーマーが加熱します。
- 上ウォーマースイッチ (赤) “ON” にすると、ランプが点灯し、上ウォーマーが加熱します。



# ご使用方法

## お使いになる前に

- ①空のデカンターを下ウォーマーにのせ、デカンターのフタを開けておき、給水フタを開け、注水口より約3.5ℓの水を最初にタンク内の水バケットに注水してください。(水を入れないとスイッチを入れても湯が沸きません)
- ②貯湯タンクが満水になると、水はファンネル内部より流出しますので、注水を止めてください。
- ③シャワーから放水が完全に終わったら、電源スイッチを“ON” にしてください。  
●デカンターに溜まった水を捨て、再びデカンターを下ウォーマーにのせます。デカンターのフタは開けておいてください。  
これで抽出準備完了です。この状態では下ウォーマーのスイッチは“OFF” にしてください。

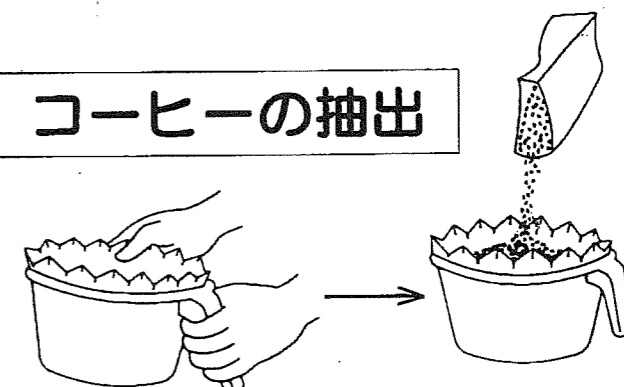


- ④ファンネルにペーパーフィルターをセットしてください。
- ⑤コーヒー粉を計量し、ペーパーフィルターの中に入れます。(計量表参照してください)

## コーヒーの抽出

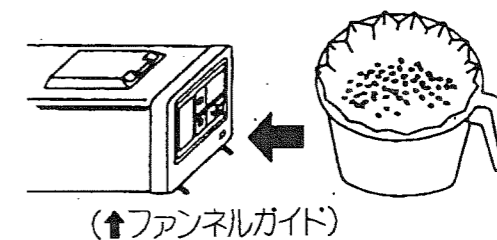


- ⑥コーヒー粉の入ったファンネルを、ファンネルガイドに確実に差込み (不確定ですと落下しやけどの恐れあり)、デカンターを下ウォーマーの上にセットします。
- ⑦緑の湯温ランプが点灯しているのを確認し、給水フタを開けて、水を一気にそそぎ込んでください。
- ⑧給水してしばらくすると、ファンネル底部よりコーヒー液が抽出され、デカンターに溜まります。
- ⑨保温される場合はウォーマースイッチを押して下さい。(ランプ点灯)



計 量 表

人数	コーヒー抽出量	給水量	コーヒー粉量
5人分	500cc	600cc	60g
10人分	1,000cc	1,200cc	100g
15人分	1,500cc	1,800cc	150g



## ご使用後は

- 抽出が終わりましたら、ファンネル内のコーヒー粉かすは、ペーパーフィルターごと捨て、ファンネル内部を洗ってください。
- ファンネルは、粉かすが付着したまま放置されますと、酸化し、風味をそこないますので、定期的に洗浄を行ってください。
- シャワーは水質により「水垢」が付着し、目詰まりの原因となりますので、定期的に台所用洗剤でクリーニングを行ってください。  
シャワーは、反時計方向（左廻り）に廻せば簡単に外すことができます。
- 水垢が付着し易い水質の場合は浄水器の使用をおすすめします。また、使用後のタンク内の排水をこまめに行ってください。

## お手入れについて

- 本体の汚れは、柔らかい布を水にひたし、固くしぼって拭いてください。
- 貯湯タンクの水を入れ換える場合は、必ず電源スイッチを切ってから、本体裏側にある排水コックを開いてください。
- 使用直後の取扱いは、貯湯タンクが高温になっておりますので、十分湯温が下がってから行ってください。
- 本体を洗浄するときは、ベンジン、シンナー、みがき粉、たわしなどは使用しないでください。  
(皮膚への障害や本体にキズをつける原因になります。)
- 長期間本機をご使用されない場合は、排水コックを開いてタンク内の水を抜いておいてください。

## 故障かな?と思ったときは


- 取扱説明書を「もう一度」よくお読みになってください。
- 電源プラグは抜けていませんか?
- 貯湯タンクに水が入っていますか?
- シャワーが目詰まり状態になっておりませんか?
- 定期的に貯湯タンクの水を交換しておりますか?
- デカンター内のコーヒー残量が少なくなり、沸騰し易くなりますが、故障ではありません。
- 抽出後あまり時間を経過せず飲んで頂ければおいしい状態で召し上がれます。


## ⚠ 注意

<p>不安定な場所や暖房機・冷房機等の近くでは使用しない。</p>  <p>火災の原因や抽出温度不安定になります</p>	<p>交流100V以外では絶対に使用しない。</p>   <p>発熱し、火災や感電を起こします。</p>
<p>デカンターを他の熱源にかけない。</p>  <p>デカンターが割れたり、把手が熱変形してけがをする恐れがあります</p>	<p>傷んだコードやプラグでは使用しない。 電源コードは束ねず伸ばした状態で使用する。 <small>点検!</small></p>   <p>感電・ショート・発火の原因になります。</p>
<p>デカンターなしで、保温ヒーターを「ON」しない。</p>  <p>デカンター受皿が高温になり、やけどや火災の原因になります。</p>	<p>コードを破損させたり、加工したりしない。</p>   <p>コードが傷つき、感電・ショートの火災の原因になります。</p>
<p>貯湯タンクに熱湯が入っているときは、排水しない。</p>  <p>熱湯により、やけどをする恐れがあります。</p>	<p>電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って引き抜く。</p>   <p>感電・ショート・火災の原因となる。</p>
<p>使用中は本体を移動しない。</p>  <p>保温中のコーヒーや熱湯で、やけどをする恐れがあります。</p>	<p>長時間ご使用されないときは、電源プラグをコンセントから抜く。</p>  <p><small>電源プラグを抜く</small></p> <p>絶縁劣化により、感電・漏電・火災の原因になります。</p>
<p>抽出中にファンネルは絶対に抜かない。又、ファンネルガイドにしっかりと入れる。</p>  <p>シャワーから熱湯で、やけどをする恐れがあります。</p>	<p>使用中や使用直後は高温部には手を触れない。</p>  <p>接触禁止</p> <p>高温のため、やけどをする恐れがあります。</p>
<p>貯湯タンク内には、水以外のものは入れない。</p>  <p>正常な動作を妨げます。</p>	<p>電源プラグはぬれた手での抜き差しは絶対しない。</p>  <p>感電やけがの恐れがあります。</p>

# 安全上のご注意(重要事項ですので必ずお守りください)

○お守りいただかなければならない事項を下記の表示絵で区分しておりますので、誤ったご使用は絶対になさらないでください。

 この表示はしてはいけないことを意味しております。

 この表示は守らなければならぬことを意味しております。

## 絵表示について

○この取扱説明書及び本体には、安全に使用していただくため、いろいろな絵表示を使っております。お使いになる人や他の人への損害を未然に防止するため、その表示の意味を十分ご理解のうえ、ご使用願います。


○絵表示は表示内容を無視した使い方をしたときに発生する危害や損害の程度を説明しております。

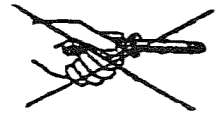
**警告**  
この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

**注意**  
この表示の欄は「損害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

### 警告

修理技術者以外の方は、絶対に分解や修理は行わない。

 分解禁止  
発火したり、異常動作によりケガをすることがあります。




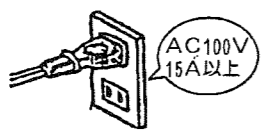
本体に水をかけたり、つけたりしない。

 水場使用禁止  
ショートや感電、火災の恐れがあります。




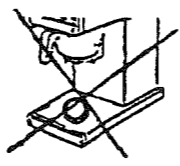
正しく配線されたAC100V定格15A以上のコンセントを単独で使う。

 他器具との併用や延長コードでの使用は異常発熱して、発火することがあります。




デカンターなしで使用しない。


 シャワーより熱湯が飛散し、やけどの恐れがあります。

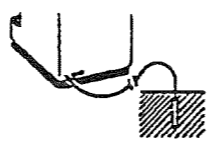


貯湯タンクに定量の水を入れない状態で電源スイッチを「ON」しない。

 空焚による絶縁不良により、感電または発火することがあります。

アース線は必ず設置。

 アース線はガス管・避雷針・電話のアース線には接続しないでください。



# 修理を依頼する前に ■故障の原因と対策■

故障内容	原因	対策
湯が湧かないとき。	a. 電源コードがキッチンと差し込まれていない。 b. 電源スイッチが入っていない。 c. タンク内に水が入っていない。	a. 電源コードをコンセントに確実に差し込む。 b. 電源スイッチを入れる。 c. 水を入れる。(定量)
ウォーマーの温度が上がらない。	a. ウォーマー用ヒーターの故障。 b. スイッチがOFFになっている。	a. ウォーマーヒーターの交換。 b. ウォーマースイッチを入れる。
湯温表示ランプが点灯しない。	a. メインヒーターの故障。 b. 貯湯タンクに水が入っていない。 c. フロートスイッチの故障。	a. メインヒーターの交換。 b. 定量を注入する。 c. フロートスイッチの交換。
抽出量がバラつく。	a. シャワーの目づまり。 b. 湯タンク内に水垢。	a. シャワーの洗浄。 b. 定期的な水の交換。
漏電する。	a. 注入時に規定以上に水を入れた。 b. 他の機器や場所から伝わる。	a. 電源を切り、布等で水分を拭き取り乾燥させる。 b. アースを確実に接地する。

※修理については、お手数でも弊社にご連絡ください。

仕 様	
形 式	CH-140
電 源	単相AC100V 50/60Hz
コ ー ヒ ー 抽 出 法	ペーパーフィルター・ドリップ式
貯 湯 タ ン ク 容 量	3.0ℓ (ステンレス製)
加 熱 装 置	1.2KWシーズヒーター (ステンレス製二重巻)
保 温 装 置	100Wウォーマー 2ヶ
湯 温	90℃以上 (ランプ沸き上がり点灯方式)
沸き上がり及び能力	初動時で約12分 (1時間当たり約130杯)
排 水 方 式	コック式 (本体後面)
外 形 寸 法 及 び 重 量	幅235×奥行400×高さ500 (重量約8kg)
安 全 装 置	フロートスイッチ及び温度ヒューズ (150℃)